

令和7年度 京都市「新体力テスト」【結果】

< 小 学 校 >

- 令和7年4月～6月に、全校で京都市独自の体力テストを実施。(7年度より4年～6年で実施)
- 前年度の京都市「新体力テスト」と比較して、男子・女子とも合計点は若干向上(6年女子を除く)。男子については多くの種目で向上がみられるが、女子は特に5、6年で低下傾向の種目が目立つ。
- スポーツ庁「体力・運動能力調査」の令和6年度全国値と比較すると、(長座体前屈を除く)ほぼ全ての種目が全国値を下回る。

— 結果概要 —

1. 実施内容等について

■ 実施種目

種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
運動能力	筋力	筋力・筋持久力	柔軟性	敏捷性	全身持久力	スピード・走能力	筋パワー・跳能力	筋パワー・投能力・巧み性

- 人数(標本数)及び平均値 … 別紙1「学年別平均」を参照。

2. 前年度(令和6年度)本市調査との比較

- 合計点は、男女とも令和6年度より若干の向上がみられる(6年女子を除く)。
- 男子は多くの種目で昨年度より向上。一方女子は特に5、6年で、低下傾向の種目が多くなっている。
- 5年男子を除いてほぼ全学年男女で低下がみられるのが長座体前屈(柔軟性)と立ち幅とび(筋パワー・跳能力)。特に立ち幅跳びはここ数年低下がみられる課題の種目。

< 令和6年度本市調査との比較 > ※低下傾向▲編掛け

種目	男子			女子		
	4年	5年	6年	4年	5年	6年
握力	0.8%	0.9%	1.3%	0.2%	▲ 2.1%	▲ 0.6%
上体起こし	1.6%	1.4%	1.6%	0.6%	1.3%	▲ 0.1%
長座体前屈	▲ 0.1%	3.1%	▲ 1.7%	▲ 0.7%	▲ 0.1%	▲ 1.1%
反復横とび	1.1%	▲ 1.1%	0.5%	0.9%	▲ 1.5%	▲ 0.8%
シャトルラン	2.2%	0.5%	0.8%	▲ 1.0%	2.9%	▲ 0.3%
50m走	0.3%	0.5%	1.9%	0.2%	▲ 0.2%	0.0%
立ち幅とび	▲ 0.6%	0.0%	▲ 0.2%	▲ 1.2%	▲ 1.0%	▲ 0.5%
ボール投げ	3.0%	0.1%	1.6%	1.5%	▲ 0.1%	1.4%
合計点	1.2%	0.8%	0.6%	0.5%	0.1%	▲ 0.5%

3. スポーツ庁「体力・運動能力調査」(令和6年度)との比較

- ・ 長座体前屈(柔軟性)、4、5年男子の50m走(スピード・走能力)を除いて、全国値を下回る。
- ・ 男女とも低さが目立つ種目は、20mシャトルラン(全身持久力)及び反復横とび(敏捷性)、上体起こし(筋力・筋持久力)。特に女子のシャトルランは全国値と比較してかなり低い。
- ・ 上記は、近年同様の傾向が続いている。

<令和6年度全国調査との比較>※全国値より低い▲

種目	男子			女子		
	4年	5年	6年	4年	5年	6年
握力	▲ 3.7%	▲ 2.1%	▲ 4.0%	▲ 6.0%	▲ 6.4%	▲ 7.5%
上体起こし	▲ 6.0%	▲ 4.3%	▲ 8.4%	▲ 10.1%	▲ 7.6%	▲ 8.6%
長座体前屈	9.3%	9.8%	3.3%	6.8%	2.9%	0.8%
反復横とび	▲ 9.1%	▲ 6.4%	▲ 6.7%	▲ 9.9%	▲ 8.7%	▲ 7.3%
シャトルラン	▲ 8.7%	▲ 5.7%	▲ 8.3%	▲ 16.9%	▲ 9.8%	▲ 11.0%
50m走	0.3%	1.0%	▲ 0.1%	▲ 0.6%	▲ 0.2%	▲ 0.9%
立ち幅とび	▲ 4.7%	▲ 3.9%	▲ 5.0%	▲ 5.3%	▲ 5.0%	▲ 6.0%
ボール投げ	▲ 2.3%	▲ 1.4%	▲ 2.7%	▲ 2.5%	▲ 5.0%	▲ 6.8%
合計点	▲ 3.1%	▲ 1.8%	▲ 4.4%	▲ 5.5%	▲ 4.7%	▲ 5.4%

4. 各種目の傾向

※詳細は、別紙2「経年変化資料」を参照。

<u>握力(筋力)</u>	全国値を大きく下回る種目の1つ。昨年度に比べて男子は上昇。
<u>上体起こし(筋力・筋持久力)</u>	全国値を大きく下回る種目の1つ。昨年度に比べて上昇。
<u>長座体前屈(柔軟性)</u>	すべての学年で全国値を上回るが、昨年度に比べて低下(5年男子を除く)。
<u>反復横とび(敏捷性)</u>	全国値を大きく下回る種目の1つ。5、6年女子は低下傾向。
<u>20mシャトルラン(全身持久力)</u>	全国値を大きく下回る種目の1つ。男子は上昇傾向。
<u>50m走(スピード・走能力)</u>	4、5年男子は全国値を上回る。男子は上昇傾向。
<u>立ち幅とび(筋パワー・跳能力)</u>	全国値より低い。全ての学年で昨年度を下回り、低下傾向。
<u>ボール投げ(筋パワー・投能力・巧み性)</u>	全国値より低い。昨年度に比べて男子は上昇。

5. 他校種の傾向

【中学校】男子は前年度から引き続き、合計点で上昇傾向(2年男子を除く)。女子は全学年低下。

全国値と比較すると、(1年男子のボール投げを除く)ほぼ全ての種目が全国値を下回る。

【高校】前年度と比較して、男子は合計点で上昇傾向(1年男子を除く)。女子は全学年低下。

全国値と比較すると、ほとんどすべての種目で全国値を下回る(2年男子・3年女子の20mシャトルラン、2年男子の50m走を除く)。

6. 今後について

全市で体力向上を目指すため、下記の実践を有効活用してください。

- ・ ジャンプアップ・プロジェクト(ジャンプアップシート)
- ・ ICTを活用した体力向上(スポーツチャレンジ大会、今月のダンス動画、京都サンガ F.C. オンライントレーニング) ☞ GIGA ポータルページからチェックしてください。

参考資料

- ・スポーツ庁「体力・運動能力調査」
- ・政府統計ポータルサイト「e-Stat」